

ごあいさつ

会場校 徳島市内町小学校長 松永 健治

本日ここに、第65回徳島県小学校図画工作教育研究大会（徳島市大会）を、徳島市内町小学校を会場とし、県内各地の会員の皆様方にご参加いただき開催できますことを心より感謝申し上げます。また本研究大会は、同じく徳島市不動小学校との2校開催となっており、令和7年度図画工作部会研究計画のもと「豊かにかかわり つながり 『わたし』が広がる造形活動」の研究主題を受けて、それぞれの学校の子どもたちがよりよく図画工作の学習に取り組めることを念頭に置き2年間の研究を進めて参りました。2校での開催ではありますが、各会場ごとに100名余りの会員が参会され、公開授業や提案発表をもとに熱心な協議が行われますこと、会場校として得ることも多く、職員一同図画工作教育を学ぶまたとない機会をいただいたと思います。

令和7年度図画工作部会統一研究大会の会場校に決まったことを受けて、阿波市立久勝小学校で行われた令和5年度大会に多くの職員を派遣し、子どもたちが造形活動に取り組む姿を実際に参観したり、久勝小学校の教職員の皆様が積み重ねてきた図画工作科についての実践・研究や成果と課題に学んだりしたことが、本校の研究のスタートとなりました。

まず、学校や地域の現況をもとに、図画工作科における児童の実態をアンケートを活用してつかみ、本校のテーマ「自分らしさ・友達らしさを認め合う児童の育成」を定めました。次に、県図画工作部会研究主題の3つの視点（1）育成する造形的な資質・能力を明確にした指導計画の工夫（2）「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善（3）指導と評価の一体化の工夫に、（4）ICTの効果的な活用を加えて、本校の研究内容としました。校内の授業研究会では、毎回これら4つを協議の柱に据え進めてきましたが、実際には、「造形遊び」ならではの指導の在り方や、「絵立体工作」の教材開発と指導方法の工夫、「鑑賞」の授業とはそもそものようなものなのかなど、図画工作の授業の基本を確かめながらここまで来たような状況です。しかし、校内研修会にお越しになられた指導・助言の先生方は、常に私たちに図画工作の楽しさと奥深さをわかりやすくご教授くださり、授業者のみならず職員皆がこの教科に学び、そして魅力を感じることができました。我々の取組が図画工作の好きな子どもたちを育み、その資質・能力を伸ばすことにつながれば幸いです。これからも、子どもたちのために本校の歩みは続くものと思います。

ご参会の皆様には、本日の公開授業・研究紀要などをご覧いただき、忌憚のないご意見を賜れば幸いです。そして、何か1つでも各学校に持ち帰り、今後の図画工作科教育の役に立つことがあれば、職員一同こんなに嬉しいことはありません。私たちも本日いただいたご意見を、明日からの授業実践に活かしていく所存です。

結びになりますが、本研究大会を開催するにあたり温かいご指導・ご支援を賜りました徳島県教育委員会、徳島市教育委員会、指導・助言の先生方、鳴門教育大学附属小学校の若井会長様をはじめ徳島県小学校教育研究会図画工作部会、徳島市小学校教育研究会図画工作部会の方々、ご協力をいただきましたすべての皆様方に心より感謝を申しあげまして、ごあいさつとさせていただきます。